

第63回 青少年読書感想文 全国コンクール 課題図書紹介

 「転んでも、大丈夫」 「ぼくが義足を作る理由」 臼井 二美男／著	 「空にむかって ともだち宣言」 茂木 ちあき／作 ゆーち みえこ／絵	 「ちががあつても おいしい」 くさの たき／作 つじむら あゆこ／絵
足を失い、心に傷を負った人々を、心身ともに支え続けている臼井二美男。患者のどんな願いにも真摯に向きあい、前向きに挑戦するよろこびを伝えつけてきた著者が、人のいのち・生活を支える仕事のやりがいを語る。 臼井二美男氏は1955年群馬県生まれ。財団法人鉄道弘済会・東京身体障害者福祉センターで義足を作りはじめる。1989年よりスポーツ義足を製作。陸上クラブ「ヘルスエンジェルス」を創設。	あいりの家の隣に、ミャンマーから一家五人が引っ越してきた。その家の女の子・ナーミンは、あいりの同級生になった。あいりはすぐに仲良くなるが、給食のときにちょっとした事件が起きて・・・。 茂木ちあき氏は千葉県生まれ。中学校教員、雑誌の編集やライター等を経て、児童文学の創作・ノンフィクションを書き始める。日本児童文学者協会会員。著書に「清政」等がある。	オレはサスケ。イヌだ。サチコさんの家の庭に住んでいる。だが、ある日、サチコさんが帰ってこない。サチコさんを探しに出たオレに、いつも家の庭に来るネコが「サチコさんを信じて待てばいいじゃないか」と言い・・・。 くさのたき氏は神奈川県生まれ。実践女子短期大学卒業。「透きとおった糸をのばして」で講談社児童文学新人賞、児童文芸新人賞を受賞。「ハーフ」で日本児童文学者協会賞を受賞。

7月の催しもの		その他の課題図書
と き	催しもの	
8日(土)・午前10時～午後4時	夏のチャリティ古本市	◆「ばあばは、だいじょうぶ」 楠 章子／作 いしい つとむ／絵
9日(日)		◆「アランの歯はでっかいぞこわーいぞ」 ジャーヴィス／作 青山 南／訳
16日(日)・午前11時～午後2時	子どもビデオ劇場	◆「すばこ」 キム ファン／文 イ スンウォン／絵
23日(日)・午前11時～午後3時	夏休みおたのしみ会	◆「くろねこのどん」 岡野 かおる子／作 上路 ナオ子／絵
10・17・24・31日(月)・午前11時～	あかちゃん絵本よみきかせ会	◆「耳の聞こえないメジャーリーガーウィリアム・ホイ」 ナンシー・チャーニン／文 ジェズ・ツヤ／絵 斎藤 洋／訳
13・20・27日(木)・午前10時～午後0時30分	あかちゃんクラブ ラッコールーム	◆「干したから・・・」 森枝 卓士／写真・文
8日(土)・午後2時～	「おはなし」と「あそび」の広場	◆「チキン!」 いうた みく／作 こがしわ かおり／絵
15・22・29日(土)・午前11時～		◆「ぼくたちのリアル」 戸森 しるこ／著 佐藤 真紀子／絵
◆不用図書の無料配布 7月15日(土)から、無くなり次第終了。一人8冊まで。		◆「霧のなかの白い犬」 アン・ブース／著 杉田 七重／訳 橋 賢竜／絵
◆6月27日(火)～7月6日(木)…特別整理期間で休館 ※7月19日(水)は開館します		課題図書は、小学校の部を各3冊、中学校の部(未紹介)を各2冊、高等学校の部(未紹介)を各1冊用意しています。

俳句

「蛍の夜」

ふそう俳句会

川柳

扶桑川柳クラブ

人もまた闇にあそぶや蛍の夜
雨の中歌ひて歩く青田道
飲みつづく母の遺せし梅酒瓶
市川 信子
伊藤 元
伊藤美保子

それなりの苦勞もあつて丸く住み
産声で力一杯ご挨拶
山田志げ子
飯田 重樹
土屋 夢子

天秤に二股の恋掛けてみる
ふそう短歌会

短歌

「記念花」

ふそう短歌会

鉄線の絶えぬ十五年うす紫
あわあわすがし記念花なり
小野寺結美代

柿若葉の輝き美しき雨上がり
山里にいまうぐいすの声
村雲たみえ

紫陽花の反照あおくやわらかく
朝の薄日の目交に満つ
高木 和子

詩吟

「坂本龍馬を思う」 河野天籟

幕雲日を掩うて日將に傾かんとす
南海の臥龍 帝京に翔る
一夜狂風幹を折ると雖も
維新の大業 君に頼つて成る

〔意〕 徳川幕府が武力により朝廷をおさえようとする為、国の運命がかたむくのではないかと思ひ、龍馬は南の土佐から大きな志をいだいて立ちあがり、大政奉還のため京都を駆けめぐり活躍した。しかし無念、政権をとり戻そうとした幕府の刺客に切り殺されたが、大政奉還は実現し明治維新は成功した。これこそ龍馬であつたこそである。

正風流 二代目家元 山内 正風